

2022 年公立高校入試

《合格体験記》

【旭丘高校】

僕は中学二年生の九月に入塾しました。僕が神田塾に定期テストでよい点数



月に入塾したのは、学校のテストでよい点数を取って順位を上げ、入塾してすぐに

「早めに志望校を決めなさい。」と言われて焦ったことをよく覚えています。その時僕は自分が行きたい高校はありませんでしたが、なんとなくレベルが高い高校に行きたいとは思っていました。そこで、「それならば旭丘高校を受験するのはどうだ？」と塾長に言われ、愛知県一番の進学校に入学することへの憧れと興味を強く持ったので、僕はそこを志望することに決めました。

自分にとって高すぎる志望校…であり、「とにかく勉強しなければ絶対に受からない。」と思っていたので、入塾と同時に自習室に通いました。

そのころ自習室に通っていた人はただ一人、同じ学校でとても明るかった人だったのですが、塾の自習室で本気で勉強をしていた姿には、とても刺激を受けました。

学校ではあんなに明るくてたくさん遊んでいそうな人が、平日も休日も遊ばずに勉強していたことに、僕は衝撃という言葉では絶対に言い表せない、勉強をするという事はほかのことを捨ててもやりきることなんだ、とさえ思いました。そう気づいたときには僕はある種の感動の気持ちさえ持ちました。

そんな心構えで勉強を続けるうちに、初めて辛く苦しいと思った時が、夏休みです。夏休みには「夏期講習会」が始まりました。その「自主勉+講習会+自習室での勉強」を続けると、朝から晩まで毎日勉強を続けることになります。とても辛かったのですが、夏期講習の一環として、「テストゼミ」というものが始まりました。「テストゼミ」では、過去の愛知全県模試の過去問や類似問題を解いて 5 教科の合計を塾内のみんなと競い合え、成績上位の人は点数と名前が公開されます。この制度が僕には本当に面白く、そして前年の先輩の点数を聞くこと等で志望校への目安として実力を知ることでもできました。僕はこのテストゼミのおかげで、相当に辛いと感じても受験勉強を続けることができました。

僕が受験を終えて感じたことは、「絶対に諦めないで、仲間と頑張る。」という事です。どんなに無謀な挑戦だと思った時でも、諦めずに続ければ、必ず光は見えてきます。そして、心が折れそうになった時でも、一緒に頑張っている仲間がいれば怖くありません。神田塾では、最終的にほとんどの人が、自習室で勉強し、同じ時間みんなと頑張るように



なります。僕自身、自習室へ行って同じように勉強する仲間の顔を見ると、それだけで安心しましたし、「もう逃げることは許されない。」とさえ思えてきました。そして、家で勉強するのではなく、自習室に行くことによって普段は保つことのできない集中力を保って勉強に打ち込む事ができました。最後に、僕のことを支えてくれた先生方、本当にありがとうございました。この神田塾に入っていなかったら、僕は考えてもみなかったであろう高校へと背中を押してくださって、心から感謝しています。また、落ち込んだり、入試直前に焦ったりした時など、様々な声掛けや、的確なアドバイスをくださって本当にありがとうございました。

野村 凌 ①暁中学 ②中学2年生

【一宮高校】

私は二年生の冬期講習の時に入塾しました。入塾した時、正直、高校に受かればいい、高校なんてどこでもいい、と思っていました。一宮高校もまあ、行けるだろうと軽く考えていました。(今考えると、恥ずかしくもあり、恐ろしいことですが…)しかし、三年生になっていざ受験を意識した勉強を始めると、一、二年生の内容、そして三年生の内容で分からないことが余りにも多く、また、周りとの差が非常に大きいと感じ、一気に不安になり、焦りました。

塾に通う前は、勉強する習慣はほとんどなく、テスト前に少し勉強するだけでし



た。しかし、神田塾の先生方の様々な話や、周りの人が真剣に努力している姿を見て、「絶対に一宮高校に受かろう。」という思いが強くなって行き、受験勉強に取り組みました。夏休み、私は一、二年生の復習をするチャンスだと思い、ひたすら自分の

苦手な問題をなくして行きました。自分の苦手な問題や、「間違い直し」をすることは、とても辛くて苦しいです。それだけ辛い思いをしても、なかなか結果につながらない時もありました。それでも、私が志望校を変えなかったのは、「強い気持ちを持ち続ける。」、「人生において勉強は絶対に無駄じゃない。」という塾長の言っていた

二つの言葉
いる以上に
出したいと思
何度かそう
の都度いつ
では、自分が
辛くなったり



があったからです。受験は思っ
大変です。もうやりたくない、逃げ
う時も絶対にあると思います。私も、
思いましたが、塾の先生方は、そ
でも相談に乗ってくれました。受験
受かることを一番に考え努力し、
どうしようもなくなったら塾の先生

方に相談してみてください。神田塾の先生方は必ず優しく、そして真摯に相談に乗ってくれます。受験生の皆さん。今年は辛く、苦しい一年になると思います。だけど「志望校に受かる。」という強い気持ちと、「勉強は無駄じゃない。」という事を胸に、一日一日しっかりと頑張ってください。最後になりますが、神田塾の先生方、一年

という短い間でしたが、本当にありがとうございました。

No.3

上大迫 悠 ①神守中学 ②中学二年生

【一宮西高校】



僕が神田塾に入ったのは、中一の夏休みが終わった時です。

きっかけは、仲のいい友達の紹介でした。僕は神田塾に入るまでは勉強というものを全くしてこなかったもので、初めての授業はとても緊張していたのを今

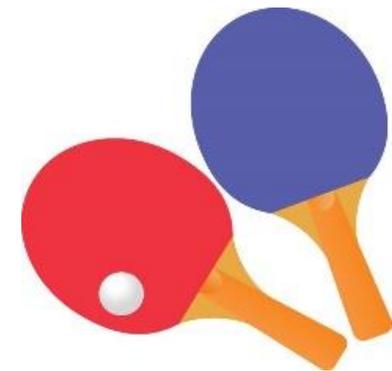
でも覚えています。中一の時は塾以外で全く勉強をしていませんでしたが、順位は少しずつ上がっていきました。そして僕が一番頑張ったなと思ったのが、中二の初めです。それまであまり勉強しなかった僕が、友達と一緒に「自習室」を使い始めたのです。この「自習室」が無ければ、僕は第一志望校を希望することさえなかったと思います。自習室を使い始めたのは「最初の定期テストに向けて一回本気で勉強してみよう。」という友達との何気ない会話がきっかけでした。使い始めた時は、何をどこから、どの教科からやればよいのか等が分からず、ただやみくもに勉強していました。が、定期テストで僕は順位を大きく上げることが出来、これまでにないような達成感と喜びがこみ上げて来ました。そこから中二の頃の僕は、受験に向けてというよりも、テストの順位を上げる、というとてもわかりやすい目標を立てて勉強

を頑張りました。そして中三、僕が受験生になって一番大事だなと思ったのは、一緒に勉強してくれる友達の存在です。受験生になってから、特に夏期講習が始まったあたりから、「受験」というものが現実味を帯びてきて、僕には大きな不安やプレッシャー、そして焦りが襲ってきました。しかし、友達と一緒に勉強を続けるうちに、そういったものは、だんだんと感じなくなって行きました。受験当日も「一緒に頑張ったみんなも、これと全く同じ問題を解いているんだ。」と思ったら、全く緊張しなかったです。

受験する上で僕が特に強調したいのは、何回も書きましたが、一緒に勉強をする友達を作る、という事です。本当に僕は友達に何回も助けられたと思っています。

最後に神田塾の先生方、本当にありがとうございました。感謝してもしきれません。神田塾に入って本当に良かったです。「継続は力なり」。この言葉を胸に、高校でも頑張ります。

後藤 令央 ①永和中学 ②中学一年生





【向陽高校】

僕が神田塾に入塾したのは兄の影響です。兄は中学三年生の時に入塾し、一年間一生懸命勉強して第一志望の高校に合格しました。僕はそんな兄の姿を見て、中学一年生の最初から入塾しました。小学校の時は全然勉強しなかったのですが、最初はすごく不安だったのですが、神田塾の先生方のわかり易い授業や、様々なアドバイスのお陰で、一年生の最初のテストから一桁の順位を取ることが出来ました。それから中学二年生までずっと一桁の順位を取り続けることが出来ました。しかし、三年生になってから周りの人たちが本気で受験勉強をするようになると、僕のテストの順位は、これまでより悪くなって行きました。そのまま中学三年の前期が終わり、内申点も下がって行きました。そこで、学校での三者面談の時、僕は「スマホを見ない。」と約束しました。しかし、意志が弱く、数日も経たないうちにスマホを見てしまいました。その後塾長と面談をして、親や先生たちを裏切ったことを反省し、スマホを塾で預かって頂くことにし、第一志望校合格に向けて、強い意志を持って、一生懸命勉強して行くことを僕は強く誓いました。ですが、その時点で僕の第一志望の高校に行ける確率は、高いものではありませんでした。かなり不安で諦めようと

思いました。しかし、塾長に「本気で一生懸命やり続ければ、入れる。自分との闘いだよ。」と言われたのを胸に、第一志望校を変えないことにしました。それから僕は、それまで以上に真剣に勉強をし、結果、模試や入試予想模擬テストでも上位を取ることが出来るようになって行きました。また、学校のテストでも前期よりずっと良い点数を取ることが出来、内申点を上げることもできました。が、第五回の模試で第一志望の高校の合格可能性がとても低かったので、とても不安になった僕は塾長に相談しました。そうしたら、しっかり考えて、「もし下げて少しでも悔いが残ると思うのであれば下げないほうが良い。」と言われ、僕は以前言われた「自分との闘い」という言葉を思い出さず迷うことなく挑戦することにしました。そして塾長の言葉が大きな励みとなり、僕は第一志望の高校に合格することが出来ました。

受験の勉強面で、具体的に大切なことは『間違い直しの徹底』です。これは神田塾の先生方から何度も言われると思います。あと機会があったら間違ったところを誰かに説明すると良いと思います。そうすることで、自分の理解を深めることもできます。僕は三年間の、神田塾で本当にたくさんのことを学びました。先生たちには心から感謝しています。本当にありがとうございました。



立松 快貴 ①永和中学 ②中学一年生

【向陽高校】

私は、中学三年生の春休みから受験当日までの約一年間神田塾でお世話になりました。



その中で、私が受験するにあたって一番大切だと思ったことは、「勉強をする習慣を身につける」という事です。神田塾の先生方も言っていたように受験勉強では量をこなさなければ質は上がらないと思います。私は、勉強量を増やすために、

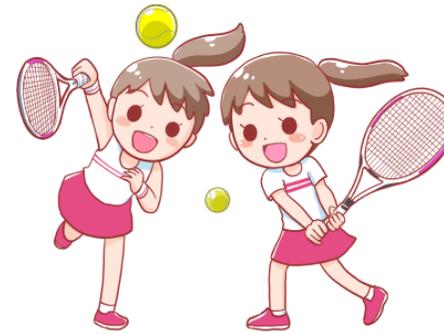
通塾し始めて少し経ってから、自習室をほぼ毎日のように活用するようになりました。神田塾の自習室の良いところは、行ける時間に自由に行くのではなく、行く曜日をあらかじめ決めてから行くということです。最初の頃は、いやでも行かなければならず苦痛に感じると思います。私自身もそうでした。しかし、時が経つにつれそれが習慣となって行きました。そこから、家でも勉強するようになりました。自習室を活用するかしないかは人それぞれですが、自習室は勉強する習慣を身に付ける一つの方法であると思います。

また、神田塾の先生方は一人ひとりの生徒と真摯に向き合ってくださいます。一斉授業ではありますが、生徒の様子にいち早く気づき、先生方から声をかけ、生徒の相談に乗ってくださいます。受験勉強が続く中で、自分では気づかない不安や悩みが必ず心の中に生まれると思います。私自身も思うように成績が伸びないことがあり、不安になったことがありました。ですが、その度に先生方の励ましの言葉や

アドバイスに本当に救われました。そして、その日から勉強に対する前向きな気持ちがそれまでよりもずっと強くなって行きました。正直そのまま相談しなかったら、立ち直ることができず、向陽高校には合格できなかったと思います。神田塾の先生方には本当に感謝しています。ありがとうございました。

また、これから受験を経験する皆さん、今の一日一日の時間を大事にし、悔いのない結果を手にするよう、強い心を持って頑張ってください。

江藤 沙夏 ①神守中学 ②中学3年生



【向陽高校】

僕は中学三年生の夏休みに神田塾に入塾しました。入塾する前は、定期テストのための勉強しかしたことがなく、入試問題などを解いたことがほぼありませんでした。定期テストでは、毎回上位に入れていたので、「入試問題も多分解けるだろう。」

と軽い気持ちで考えていました。しかし、夏期講習会でいざ入試予想問題を解いてみると、解けない問題ばかりで、僕の中で入試に対する考え方が大きく変わり、「このままではいけない。」と強く思うようになりました。それから僕は、解けなかった問題の『間違い直し』を解けるようになるまで何度も繰り返し続け、着実に解ける問題を増やしていくことが出来ました。



入試本番が三か月後に迫った冬期講習会では、今まで経験したことがないような不安やプレッシャーに襲われました。そんな時、塾長から「君なら合格できる。自信を持って一日一日勉強すればいい。」と声をかけてもらいました。その瞬間、僕の不安は自信に代わり、前向きな気持ちで勉強し続けることが出来ました。さらに、たくさん問題を解き、その点数が高くなっていくうちに、僕の自信がより大きなものになっていることを日に日に強く実感するようになって行きました。

そして入試当日、今までの努力を全て答案用紙にぶつけ、第一志望の向陽高校に合格することが出来ました。僕が向陽高校に合格することが出来たのは、神田塾の先生方が様々な言葉をかけて下さり、勉強面、精神面などの様々な方向から、ずっと僕を支え続けて下さったお陰です。本当にありがとうございました。入塾から

入試までの長いようで短かった約八か月間は、これからの僕を支える貴重な経験です。

浅井 悠佑 ①永和中学 ②中学三年生

浅井 悠佑 ①永和中学 ②中学三年生

【五条高校】

私は、中2の秋頃に神田塾に入塾しました。学力を伸ばすために勉強をどう進めたらいいか分からず、不安を覚えたからです。



入塾当初は、塾のペースについていくことと自主勉強の時間の兼ね合いがあまり分からず、成績が伸び悩んでいました。しかし、先生方に教わった「間違い直し」を徹底して行なった結果、それまで目を背けていた応用問題や発展問題がだんだんと解けるようになり、少しずつ自分の実力が上がっているのが実感できるようになりました。そして、最初は長いと感じていた塾の時間も、集中するとあっという間で、毎日毎日勉強しているうちに慣れてしまい、集中力が切れることも無くなっていきました。

三年の夏休みに高校の体験入学に行き、行きたい高校が見つかりました。自分

にとってはまだまだ努力をしないと手の届かない学校でしたが、目標ができたことでモチベーションも上がり、遊ぶことをやめ、スマートフォンを手放し、毎日「自習室」に通い続けました。気が付くと成績が上がっていて、私はやった分だけ成果が出ることを実感し、志望校への道のりがグンと近づいたように感じました。

秋頃からは、学校と塾と塾の自習室の往復で大変でしたが、私は、塾長の「受験生はエネルギーの全てを受験勉強に費やす。」という言葉に胸に、がむしゃらに頑張りました。

その結果、第一志望校の高校に合格することが出来ました。合格通知を手にした



時の喜びと達成感は一生涯忘れないですし、これからの大きな糧になると思います。

これから受験生になる皆さんの中には、成績が思うように伸びず、悩んでいる人もいるかもしれません。が、神田

塾の先生方の言葉を信じて努力し続ければ、必ず良い結果が待っていると思います。自信を持って頑張ってください。応援しています。

神田塾の先生方、手厚いご指導ありがとうございました。自信がなくて志望校を諦めそうになった時、暖かくて心に刺さる先生方の言葉やアドバイスに何度も助けられました。とても良い経験になったと思います。高校に行っても努力し続けることを忘れずに頑張っていきます。

三輪 小姫 ①天王中学 ②中学二年生



【五条高校】

私は中学三年の春期講習会から神田塾に入塾しました。

入塾した頃、進路のことなど何も考えていませ

んでした。「高校は津島東高校に行ければいいかな。」と思っていました。しかし、いざ授業に参加してみると、学校よりも断然スピードが速く、内容もとてもレベルの高いものでした。そして何より、同じ学年なのに勉強量が全く違って、「思ったのと全然違う。」と、とても驚きました。みんなが真剣に取り組んでいるのを見て「自分も頑張ろう。」と思いました。私は週末、ソフトボールをやっていたので、練習の後の数学の授業は少しきつかったです。勉強で高校へ行きたかったのと、なかなか集中できなかったのも、私はソフトボールをやめて勉強に集中することにしました。この頃から私は自習室へ行くようになり、勉強のやり方や面白さが徐々に分かってきました。

受験勉強に熱が入ったのは、第一志望校が決まった時です。たくさんの講習会を乗り越えて、成績が確実に上がっており、自信もついてきたので上の高校へ行ってみたいと思い、塾長にアドバイスをもらって「五条高校」を第一志望校にすることにしました。そして自習室に毎日通うようにしました。

第一志望校が決まってからの時間はあっという間でした。冬期講習会、日曜講習

を終えて三月に入っても神田塾ではギリギリまで対策をして、私たちが少しでも合格に近づけるようにしてくださいました。そして受験を迎えました。しかし、A日程の試験の点数を見ると思ったより低かったので、「これじゃあ五条は無理なのかな。」と自信を無くしてしまいました。そんな時塾長が、「今までやってきたことをやれば行けるよ。志望校に入るための学力は十分あるから最後まで強い気持ちで行きなさい。」と言ってくださってとても安心することが出来ました。そして、今までで一番良い成績で第一志望校である「五条高校」に合格することが出来ました。この一年間で、私は勉強は自分が頑張った分だけちゃんと結果として現れてくれるんだな、と改めて思いました。一分一秒の時間を大切に、諦めず最後まで全力で取り組めば、必ず良い結果が得られる。等々、先生方に教えてもらったたくさんのことを忘れずに、これからも頑張っていきたいと思います。一年間支えて頂き本当にありがとうございました。

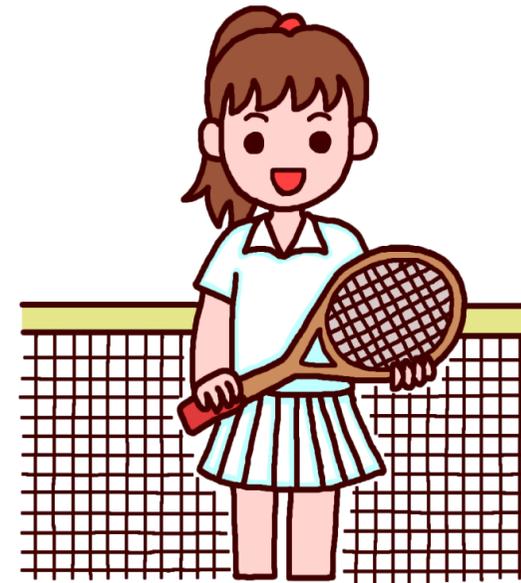
松永 陽菜 ①暁中学 ②中学三年生

【桜台高校】

私は、中学三年生の七月に神田塾に入塾しました。三年生になってからテストであまり用結果が出せていなかったのので、塾に入ることを決めました。塾に入ると、周

りの人の勉強量や受験に向かっの熱意に驚きました。その緊張感のおかげで「勉強しないといけない。」という気持ちになることが出来ました。そして、塾で長時間勉強することで、集中力や勉強する習慣を身につける事が出来ました。

入試が近づくと焦りと、不安が大きくなっていきました。そんな時にあった「日曜講習」では、毎週本番のような実戦問題を解きました。そのおかげで入試本番のような問題には、十分に慣れることが出来ました。また、良い点数を取れると自信を持てるようになり、「絶対に合格したい。」という気持ちも大きくなっていきまし



た。ですが、直前の模試があまり良い結果ではありませんでした。とても落ち込みました。その時、塾長にアドバイスをもらいました。そして、一か月間必死になって勉強をしました。「パターン集」を繰り返し解き、今までの講習会で間違った問題を解き直しました。「一度解いた問題そして類似問題は、絶対に間違えないように。」という塾長の

言葉を思い出しながら、間違い直しをしていました。そして、無事に第一志望校に合格することが出来ました。

最後に、私が志望校に合格できたのは、神田塾の先生方のおかげです。悩んで

いた時や不安な時に的確なアドバイスをして下さいました。改めてありがとうございました。もし、神田塾に入っていなかったら、私は諦めていたと思います。本当に感謝の気持ちで一杯です。来年受験をする皆さん、強い気持ちを持って最後まであきらめずに頑張ってください。応援しています。

長谷川 果穂 ①永和中学 ②中学3年生

【桜台高校】

私は中学三年生の六月末に神田塾へ入塾しました。中学二年生の頃に志望校を決め、『目標』を作りました。しかし、なかなか勉強に集中できず、内申点・実力、ともに伸び悩んでいました。なので、神田塾は厳しいと聞いており不安でしたが、少し希望を持って入塾を決めました。

私は中学二年生の時、他の塾へ通っていましたが、神田塾の授業のスピードや解く問題の多さ、そしてレベルの高さに驚きました。その時初めて私の中に『焦り』が生まれました。しかし、自分では勉強しているつもりでも、なかなか実力がついて来ませんでした。そんな時、先生のおっしゃった「自分の解ける問題は、確実に正答しよう。」という言葉をもとに、少し勉強方法を変えました。難しい問題で悩んでいた時間を、点数を落とさないために問題を解き込むことに使いました。そのせいで、『凡ミス』を減らすことが出来ました。

受験の課程の中で特に印象に残っていることは『日曜講習』(=『ザ・ファイナル』)



と『冬期講習会』です。日曜講習では、自分一人だったら絶対にやる気を失ったであろう、大量の問題を解きました。わたしは、予想模擬テストの結果が貼り出される『成績上位者リスト』もすごく効果があると感じました。なぜなら、その中に自分の

名前があると、より「頑張る。」と気合が入ったからです。『冬期講習会』では、みんなの緊張感がこれまで以上に増し、とてもドキドキしました。入試前日までこの予想模擬テストを解いたので、入試本番での大きな練習になりました。私は、最後の模試で志望校の合格判定がとてつもなく低く、より不安になりました。なので、勉強量を今までより増やしました。しかし、自分では実力

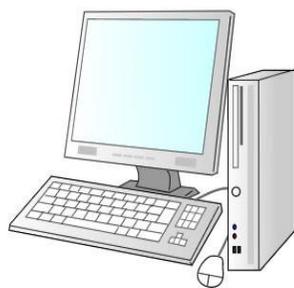
がついてきているのか全く分からず、只々焦っていただけでした。が、第一志望校の入試前日、塾長から「実力はもうついている。後は自分を信じて、焦らず集中して問題に向き合って。」と言って頂き、不安が大いに和らぎました。その結果、入試はとても緊張しましたが、焦らず取り組むことができ、第一志望校の「桜台高校」に合格することが出来ました。

この一年間の受験勉強を通して、私は何もかも”自分の気持ち次第“なのかなと感じました。私立に行く同級生たちが遊んでいる中で、集中し勉強に取り組むことは想像以上に辛く、大変でした。でも、志望校に合格できなかった時のことを想像すると、自然と頑張ることが出来ました。そして何よりも志望校目指して、本当

に真剣に一日一日を頑張っている神田塾生の存在が、「私も頑張らなきゃ。」と、大きく後押ししてくれたのは間違いありません。『自分はもうダメかも。』と思うより『まだ可能性はある』というような考え方も勉強に大きく影響するなと思います。なのでこれから受験をする皆さん、どんなにくじけそうになってもポジティブに考え、自分を信じ、最後まで諦めず頑張ってください。

神田塾の先生方、短い間でしたがお世話になりました。神田塾での経験を、これからの人生に生かしていきたいです。本当にありがとうございました。

小貝 紗永 ①永和中学 ②中学三年生



【松蔭高校】

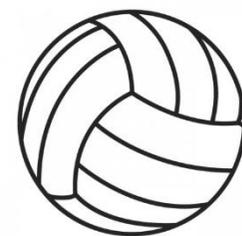
私は中学二年生の春に神田塾に入塾させて頂きました。当時の私は塾をいくつも転々としており、落ちて行く成績や先の見えない不安で胸がいっぱいでした。

そんな中で神田塾に出会い、本当に私の日々は変わったと思います。入って初めての授業で、私は塾生のレベルに驚き、これはいけない、と感じて授業前には予習を欠かさずするようにしました。また、受験生である中学三年生の毎日は、十五年間生きてきた中で最も成長した一年と言えらると思います。特に、思い出だけで頭がくらくらしてしまうほど苦しかったのは、三年生の一月の後半です。学校の担任に

突き付けられる厳しい現実や言葉、それでも迫ってくる受験が頭にちらついて初めて「勉強苦しいな。したくないな。」と思うようになってしまいました。そんな時一刻も早く声をかけてくれ、私を勇気づけてくれたのは、やはり塾長でした。「確実に実力はついているよ。」と真っすぐ目を見つめ励まして下さったことは忘れることはないでしょう。嘘じゃない、と本気で思い、信じる事が出来たおかげで、私は気を持ち直して前進することが出来ました。神田塾は一斉授業が基本です。一人ひとりに寄り添い相談に乗ることは本当に大変なことだと思います。が、神田塾の先生方はしっかりと一人ひとりを見てくださいます。私にもそうでした。私を



良い方向に導き、最後まで私に期待を抱いて下さった神田塾の先生方には、言葉にならないほどの感謝で胸一杯です。全力はつくしましたが、私は第一志望校へ合格することはできませんでした。でも、「もっと勉強すればよかった。」「私はこの高校なんか行きたくない。」なんて微塵も感じていません。「最終的に入ったところが自分の母校。」この考え方も神田塾の先生方から学びました。私はここまで頑張



った自分を本当に誇りに思うし、「高校ではさらに頑張ろう。」と決意しました。今感じる悔しさは過去の自分にぶつけるのではなく、これからの自分に生かし成長の糧にしたいと思います。

後輩の皆さん。受験は甘くありません。自分が今一番できると感じていようと、あなたより上の猛者が数えきれない程います。でも、そんな現実には立ち向かい、戦っていく精神を、是非神田塾で学んでいただけたらと、強く思います。どうか、挫けず、前を向き精一杯努力してください。どんな形であろうと、必ず将来の糧につながります。そして、「時間は大切に。」皆さんの活躍を心から応援しています!!

水野 萌寧 ①神守中学 ②中学二年生

【松蔭高校】

僕は、中学二年生でした。入塾する前までおらず、順位はた高校には手も足も出



の十一月に友達に誘われて入塾しました。入塾する前までは、テスト前に少しの勉強しかやっただ下がり続け、僕が志望していた松蔭高校には手も足も出ない状態でした。その上、クラブチームでサッカーをしていたので、危機感を感じているのに勉強をしない、このような状況がずっと続いていました。そんな中、僕はけがをきっかけにサッカーをやめて自分と向き合い、勉強に集中することにしました。入塾して初めての模試では、第一志望校にはとうてい届かない結果でした。そこで僕は先輩方の合格体験記を読み直し、『間違い直し』の大切さを知りました。

入塾して初めての二年生の冬期講習会では、過去問をたくさん解き、説明を聞いて

いるうちに、問題形式の慣れ、だんだん解き方が分かるようになり、特に覚えることが多い、理科、社会、英語は、重点を耳にタコができるほどに解説して下さったので、その部分を特に家に帰って復習しました。その結果、徐々に実力がついていくのを実感できました。

しかし、僕は、あまりにも大事な中3の「夏期講習」で、頑張らないといけない所でサボってしまい、周りから大きく後れを取ってしまいました。しかし、「貪欲にそして真摯に勉強に向き合うことが大切だ。」と、塾の先生方から常日頃から言われていたことを思い出し、僕は気合いを入れ直すことができました。夏が終わり、周りから後れを取った僕は、今まで以上に徹底して「間違い直し」に取り組みました。また、夏期講習の時の入試対策問題の間違いも解き直しました。その結果、最後の模試では、第一志望校に届く結果を得ることが出来ました。

そうして、先生方の様々なアドバイスもあり、僕は、第一志望の松蔭高校に合格することが出来ました。神田塾に入っていなければ、第一志望の高校には合格できていなかったと、僕は思います。

これから入試に向かう神田塾生の人は、塾長がよくおっしゃっていた「謙虚さ」と「貪欲に」という二つの言葉を大切に、入試に向かって行って欲しいと思います。そして、目標は高く、決して悔いが残らないように精一杯受験勉強に取り組んで、第一志望校に合格して欲しいと思います。

亀岡 真弥 ①天王中学 ②中学二年生

【瑞陵】

私は中学 2 年生の 3 月に神田塾に入塾しました。はじめの頃は、学校の授業と違い一回の授業が休みなく長いので、なかなか慣れずに少し眠くなってしまったり、集中できなかったこともありました。でも、回数を重ねいくうちに一回一回「ぐっと集中」することができるようになりました。神田塾に入塾してから私は「間違い直し」を意識して行ってきました。これは本当に大切なことです。はじめは成果があまり出ないかもしれませんが、特に入試問題を解くようになったら、3 回、4 回同じ問題を繰り返し解くことで、必ず成果が出てきます。諦めず、塾長や先生方の言葉を信じて取り組むことが大切です。

夏期講習や冬期講習では、テストごとに成績上位者が張り出されます。実際に他の塾生と比べて自分がどのくらいできているか分かります。点数が良かったときも悪かったときもそれぞれしっかり間違い直しをすることで、以後に役立てることができます。入試をしっかりと意識し、より真剣に取り組むことができます。

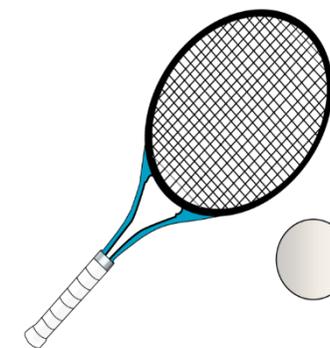
私は『塾生個別』も数学を中心に利用していました。自分の苦手教科を納得するまで教えてくださるので、成績を伸ばすことができました。自習室は最初は週に 2、3 回ほどしか利用していなかったけれど、最後の方は毎日利用していました。みんなと同じ空間で緊張感に包まれて勉強できることは、私にとってとても良い刺激となりました。入試が近づくにつれて、



何を勉強するべきか分からなくなってしまい、テストで今までとったことのないような点数を何度もとってしまうことがありました。不安になって、テストを受けているときもいい点数が取れなかったらどうしようと考えてしまうようになり、どんどん悪い方へ気持ちが流れていきました。入試 1 日目が終わって、もうダメだ、と思って何も手につかなくなってしまい、ずっと泣いていました。そのままいたら B グループの入試もダメだったと思います。その時、塾長が声をかけてくださって、そこでたくさん話をしたことで、私は気持ちを切り替えることができました。自分が思っていることを誰かに話すことは勇気がいるけれど、思い切って話すことで不安を取り除くことができるし、自分にとってプラスになることなので良い事だと気づきました。

私が合格することのできた高校は 1 年前の私では、到底合格することが考えられなかったところです。受かった高校を「我が母校」だと思って頑張っていきたいと思っています。神田塾の先生方のおかげで、無事合格することができました。本当にお世話になりました。ありがとうございました。

濱田 桜花 ①神守中学 ②中学三年生



【千種高校】

私は入塾してから『間違い直し』を徹底してきました。そのおかげか、中学一年生から二年生はだんだんと順位が上がり、三位以内に入ることができました。ですが、三年生になって、受験勉強や学校でのストレス(?)が重なり、机に向かっても集中していない時期がありました。すると自分でも驚くほどに模試や学校のテストでの結果が下がっていきました。そんな時、神田塾の先生は私の変化にすぐ気づき、話を聞いてくれたり、勇気づけたりしてくれました。また、同じ高校を目指す塾の仲間に出ると、「私も頑張らなきゃ。」と良い刺激を貰えたり、受験に対す



ってきて、前よりも集中して長時間勉強しました。一緒に勉強する仲間がいること参考にしたり、勉強のヒントを得たり、目

れました。また、「私も頑張らなきゃ。」と良い刺激を貰えたり、受験に対す

また、私は勉強するときに必ず、計画を立てるようにしていました。よく塾長先生は、「今から何の教科を勉強するのか。何時まで勉強するのか。何時に寝るのかを明確にしろ。」とおっしゃっていました。こうすることで、勉強をすることがルーティン化されますし、無理に頑張ると体調を崩すこともなく、集中することができます。私はいつも、毎朝学校に行く前は一時間以上勉強するようにしていましたし、自習室を利用する時は、「今日はこのワークをやる。」などと決めて、計画的に効率よく

勉強できました。

私が塾での体験から学んだことはたくさんありますが、一番心に残っているのは、先生方と仲間の大切さです。先生方は勉強だけでなく、勉強をする上で大切なことや、受験に対する意識を高めてくれ、また辛いときには、勇気を与えてくれます。たくさんの受験生を見てきた先生方の言葉は、とても説得力があり、どれも私を励ましてくれるもので、自信を持って受験に挑むことができました。加えて、『夏期講習』『冬期講習』などを共に乗り越え、切磋琢磨してきた塾の仲間がいたから、頑張ることができました。後輩の皆さん、頼りになる先生方と、一緒に頑張る仲間を大切に、勉強を精一杯頑張ってください。私は第二志望の高校に合格しましたが、後悔していませんし、本気で受験に立ち向かった経験は、大きな自信につながりました。決して楽な道ではないと思いますが、応援しています。神田塾の先生方、最後まで支えて頂いてありがとうございました。

錦見 杏珠 ①天王中学 ②中学1年生



【千種】

僕は、中学 3 年生の
する前の頃はなかなか
も良い結果が出ない状



ときに入塾しました。入塾
成績が伸びず、テストで
況でした。そんなときに成

績を伸ばしていた友達から神田塾の紹介を受け入塾することにしました。最初の授業ではあまりついていくことができず、焦ったり不安になったりしました。が、次第に塾の授業を通して実力が付くと同時に、自信も付けて行くことができました。

夏期講習や冬期講習では、通常授業より時間が長くて大変でしたが、その分大きな力が身に付き、休み明けの定期テストでは順位を上げることができました。

年も明け、私立高入試を間近に控える頃には、実力も自信も付いていて、「このままいけば第一志望の千種高校に合格できるのでは?」とっていました。その後無事に抑えの名城高校に合格することができましたが、塾長に「これからは本番だ。」

と言われたことで、最後まで油断してはいけないということを痛感させられ気を引き締めました。

Bグループの受験の 4 日前、塾長から「このまま行けば受かると思います。実力も付いてきているから最後まで強気で頑張る。」と言われ、「絶対受かる!」という気持ちがさらに高まっていきました。

受験当日、とても緊張し、不安な気持ちになることもありましたが、各教科が終わるごとに気持ちを切り替え(塾で何度も言われていたことです)、自分の力を最大限

に発揮することができました。

一週間が経ち、合格発表の日、ネットで結果を見ず、家族で千種高校まで行き、実際に見ることにしました。自分の受験番号を見つけたとき、一気に身体力が抜ける感覚がありました。神田塾に入塾して 9 ヶ月で合格できる、と入塾した時には思ってもいなかったもので、本当に嬉しかったです。神田塾の先生方には感謝の気持ちしかありません。

本当にありがとうございました。

大河内 煌斗 ①永和中学 ②中学三年生

【津島高校】

僕は中学 2 年の春から神田塾に在籍していました。僕が一番自分の印象に残っている言葉は、「もう、見えてるね。」という言葉です。これは塾長が常々僕(たち)に言っていたもので、後に僕の勉強のやる気へと変化しました。そして僕はより多くの問題が解けるよう、「間違い直し」を徹底して行うようにしました。そのおかげで、着実に成績を伸ばしていくことができました。



中学 2 年の冬頃から僕は自習室に通い始めました。自習室に通うことで、僕はより「間違い直しの徹底」を行うことにより、分かるまで解き続けることの大切さを理解し、そして実力を伸ばすことができました。自習室に通うことで一番大きかったのは、友達存在です。友達と一緒にいてくれたことで、負けたくない気持ちや勉強へのやる気がより強まりました。

そして、あっという間に 3 年生になり本格的に受験勉強を始めました。僕にとって中学 3 年間で一番大変だったのは「ザ・ファイナル」(「日曜講習」)です。でも、それが自分にとってすごく役に立ったのも事実だと思います。苦手な分野を最終確認し、



補強していくうちに、徐々に点数が取れるようになり、とても嬉しかったです。入試本番でも似た問題が何問か出たので、とても価値のあるものだったと思います。

塾生の皆さん、分からないことがあったら塾の先生を頼ってください。分からないままにするのが一番ダメです。そして、僕がこの 2 年間で一番大切だと思ったのは、「間違い直し」です。間違い直しをすることは、実力を付ける上で必須だと思います。

最後に、僕は神田塾に入塾していなかったら、絶対に津島高校に合格することはできませんでした。入試の前日まで先生方は僕達を様々な点でサポートし、また色々と工夫をして自習室を使わせたりなどしてくださいました。感謝の気持ちで一杯です。本当にありがとうございました。色々なことがあり、色々なことを感じた 2 年間でしたが、とても楽しかったです。

服部 朔也 ①永和中学 ②中学二年生

【津島高校】

僕は中学一年生の最初のテストで位を取ってしまい、「このままでは、や塾しました。入塾すると同時に塾にゲーム機を預かってもらい、「順位を絶対



最下位に近い順位に思い入れを上げてやる。」という気持ちで勉強をしようと思いました。塾に入るまでの自分はどうやって勉強を進めて行けばよいのか全く分かりませんでした。しかし、塾で「間違い直し」の大切さを教わったことで、それを実行するようにしました。そうしたら、だんだんと勉強の進め方が分かってきました。そのうち、毎日友達と「自習室」に通うようにしました。そして三年生になる時には順位も二十番程に持っていくことが出来ました。とてもうれしかったです。

また、「夏期講習会」や「冬期講習会」は、学年が上がる程大変です。中三の夏期講習会が始まる前に講習会の予定表を見た時、僕は本当に驚きました。受験生であることを、嫌でも実感させられました。夏期講習会は、正直とても辛かったです。しかし、周りのみんなが緊張感をもって頑張っているのを見て、「自分も負けられない。」と思い、一生懸命取り組みました。その後、自分が思った通りの結果が出ないことが度々ありましたが、それでも、勉強を続ければ必ず結果は出ると信じ、努力

しました。最後のリハーサルテスト(第6回愛知全県模試)の志望校判定はEランクでしたが、「後悔しないよう、最後まで全力で努力する。」という塾の先生方の言葉を胸に、入試前日まで粘りました。

最後に。僕は神田塾の先生方のおかげで学力が大きく向上し、以前では絶対に無理だと思っていた第一志望校に合格することが出来ました。これは間違いなく神田塾の先生方からいただいた様々なアドバイスやご指導のお陰です。僕は後輩の受験生の皆さんに伝えたいことがあります。「受験という経験は、誰もがキツイ。自分との闘いだと思います。しかし、それを乗り越えた時には、必ずお金では買うことのできない一生の大切な宝物を手に入れることが出来る。」(神田塾の先生方にいつも言われていたことですが…)頑張り受験生!!

服部 太智 ①永和中学 ②中学1年生



【名古屋西】

僕は2年生の終わり頃に入塾しました。

神田塾に入り、僕は様々な勉強の仕方を学ぶことができました。例えば、「間違い直し」は必ずすること、英語は答えだけでなく、文型を身につけるためにも英文を全

て書くこと、また難問は、時間を置いて何回も解き直すこと、などです。最初は面倒臭い、と思いました。が、続けていくうちに、だんだんとどのように解けば良いのかなどが解っていき、また続けることが本当に大切だと感じるようになりました。

また、僕には行きたい高校がありました。それが神田塾に入った一番の理由です。結果は、行くことができませんでした。願書にすら書けませんでした。しかし、その行きたかった高校を変えるまで、先生方は僕がその高校に入れるように様々なアドバイスをしてくれたり、また僕を鼓舞してくれました。僕が最後まで勉強を頑張れたのも、そのおかげです。恥ずかしいですが、僕は様々なアドバイスを頂いたにもかかわらず、すぐに勉強に本気で取り組みませんでした。「まだ入試は先だ。」という具合に、甘く考えていました。本気になったときには、もう僕の成績では届かないところにその高校はありました。「なんでもっと早くやらなかったんだろう。」「自分はバカだ。」とつくづく思いました。それに何より、親や先生方に失礼なことをした、と思いました。今、神田塾生の人たちはきっと高い目標を持っていると思いますが、「そこに絶対に入ってやる!」という強い気持ちを本気で抱いて、今すぐに勉強に取り組みましょう。そして自分を鼓舞することのできる何かを持つと良いと思います。



僕は、「親や先生方に恩返しをしたい。」と思い、勉強を頑張りました。これから勉強を頑張る神田塾生にはこんな僕のような思い(もっと早くから、真剣に受験勉強と向き合えばよかった)をして欲しくないのです、この文を読んでもくれた人は全面的に僕の甘かったところを否定してください。そして勉強でも進路のことでも何かあれば神田塾の先生方にすぐに聞いてください。先生方は、塾生の力になると思ったことには、全て本気で答えてくださいます。僕もここには到底書ききれない程、様々なことを教えて頂き、アドバイスをもらいました。

神田塾の先生方、短い間でしたが、本当にお世話になりました。これからは、これまで以上にギアを上げて頑張ります！ありがとうございました。

水谷 伊吹 ①神守中学 ②中学二年生

【明和高校】

僕は中三の春から神田塾に入り、一年となり、本格的に勉強を始めた時、偶然クラスの友達からの決めました。

入塾して初めに思ったことは学



ました。受験まであることを考え始めて勧めもあって入塾を校との空気感の違

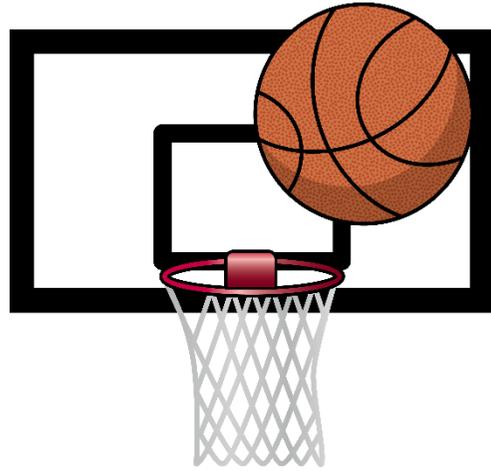
いです。塾の先生方が本当に真剣で、その上丁寧に授業をして下さり、また、塾生一人ひとりも真剣に勉強と向き合っていました。その時感じた緊張感は今もよく覚えています。僕は感化されるように勉強を始め、自分のペースで進めていきました。今考えると、神田塾にはその「勉強と真剣に向き合う」という空気があったからこそ、長期休暇で意識が緩んできた時でも僕は気持ちを引き締め直して、ダレずに勉強に向き合えたのだと思います。

僕が受験で意識したことは、「問題を解く過程」と「模試を入試だと思って勉強すること」です。前者の方では、間違えた問題は自分の間違い方を分析して、類似問題で絶対に同じ間違い方をしないように意識し、また、あっていた問題でもより短い過程で解けないかという事を常に意識して解き直しました。もともとケアレスミスをするが多かったのですが、そのおかげでケアレスミスを本番でなくすことができました。

後者の方では、僕は自分の中に入試よりも短い間隔で目標を設定し、モチベーションが続くようにすることを意識して、勉強の計画を立てました。その結果、塾の雰囲気とも合わさって、最後まで勉強に対する意識を切らさずに入試を終える事が出来ました。

受験を通して学んだことは、「継続することの大切さ」です。塾でよく「継続は力なり。」という言葉が先生方から聞いていたのですが、入試が終わった今、僕は改めてその通りだと感じています。合格が決まりうれしい一方で、これからの新しい環

境での勉強に不安を少なからず感じています。受験勉強を通じて学んだ「努力し続ける姿勢」を忘れずに、困難を乗り越えていきたいと思っています。先生方、入試前僕が不安に陥った時、すかさず声をかけ僕に安心感を与えて下さったことなど、本当にありがとうございました。



横井 真大 ①暁中学 ②中学3年生

【明和高校】

私は、小六の三月に入塾しました。もし私が神田塾に入っていなかったら、私は勉強に真剣に向き合うことはなかったと思います。

私は、中二の後期まで「千種高校」くらいに行ければいいな、と思っていました。ですが、塾長から「もっと上に行けるよ。」と言われたことがきっかけで、私の考えは変わりました。「明和高校」に本気で入ろうと決意したのです。もっと高い目標を掲げることでその目標を達成する為の努力を怠らず、モチベーションを保ち続け、自分の可能性を広げられることを私は学びました。受験勉強を続ける中で一番辛かったことは、自分では頑張っていたテスト勉強をして臨んだ中三の後期中間で、過去

最低順位を取ってしまった時、「もうだめだ。」と諦めそうになったことです。その苦しさを糧に、『日曜講習』『ザ・ファイナル』では、自主学習での間違い直しに加え、愛知県公立入試の「パターン集」を入試が始まるまでに三周することを目標に、日々勉強を頑張っていました。次の定期テストが中学校では最後だったし、内申点をキープするため、ここで結果を残さないと安心して受験に立ち向かえなかったのも、とてもプレッシャーを感じていました。そして、学年末テストの結果は、以前にいつも取れていた順位に戻すことが出来、そのくらいの時期で、『ザ・ファイナル』で張り出される塾内での順位も安定して上位を取ることが出来るようになりました。

私は、このような経験から、自分がどれほど勉強ができる力がついているかを一から十で表し、元の自分の実力を五で表した場合、五から十に上げる事より一度挫折してしまい、一から十に戻すことが精神的にどれ程辛く厳しいものであるかを知りました。前までできていたことが出来なくなったり、一度自分に自信が持てなくなると、立ち直るまでに相当の時間がかかり、逃げ出したくなりさえしました。ですが、それを乗り越えて、私は第一志望校に合格できたのだと思います。もちろん自分一人の力だけでなく、励ましてくれた両親、そして何よりも神田塾の先生方の存在はとても大きかったと思います。先生方は様々な話をし、的確なアドバイスを私にしてくれました。本当に感謝しています。三年間、本当にありがとうございました。最後に、こ



れから受験を控える神田塾生の皆さんの健闘を祈っています。

横山 知香 ①神守中学 ②中学一年生

【明和高校】

私は、二年生の四月に入塾しました。学校が休校になった時です。当時の私は、入試を意識することなど全くありませんでした。それどころか、韓流ドラマにはまっ
てしまい、勉強しない日々が続きました。そんな私を見かねた両親に勧められ、神
田塾に入りました。初めての授業で、学校では教わらないレベルの高い内容などを

知り、入試への自分の思いの浅はかさを思い知ら
されました。それから、入試に向けた勉強をやり始めま
した。私は、伴に学ぶ「学友」に恵まれ、「志望校に一
緒に合格する！」という気持ちを共有することが出来
ました。なので、受験勉強は、私にとって心身ともに
疲れるほどのものではありませんでした。

しかし、一つだけ悩むことがありました。それは入
試が近づくにつれ、苦手だった国語の現代文と数学
の図形問題の間違いが目立ってきたという事です。
苦手というだけで身構えてしまい、時間配分を間違
え、解けるはずの問題も間違えてしまうことが何度も



ありました。そんな時、塾長が「一度解いた問題は、必ず解けるようにする。」とおっ
しゃっていました。それを聞いて、私は間違い直しをしっかりとやり、一度解いた問
題を再度解いてみると、できない問題がいくつかあることに気がきました。その問
題の解き方が、きちんと自分に定着していなかったのです。数日置いてまた解き直
し、答えを覚えていても、自力で解けるようになるまで何回も解き直しました。する
と、図形の新しい問題が、かなり解けるようになって行きました。そして、「日曜講習」
で、入試と同じ形式の問題を同じ時間で解くことで、解き方に慣れ、時間配分で失
敗することはなくなりました。入試当日では、両方の日程で、図形の問題を全て解
くことができ、国語も、いつもより少し問題文が長いと感じるだけで、抵抗感なく解
けました。(自分でも驚きました。)解き慣れることは大切だと思いました。

入試を終えて思うのは、「あっという間だった。」という事です。受験勉強をしてい
る間は、早く終わって欲しいと思っていたのに、いざ終わってしまうと寂しい気持ち
がします。だからこそ、今、受験勉強している人たちには、後悔がないように精一杯
頑張ってもらいたいと思います。

最後になりましたが、神田塾の先生方、最
後まで丁寧なご指導をありがとうございました。

山田 侑以 ①暁中学 ②中学2年生

